

『産学連携の充実をめざして』



財団法人
明石市産業振興財団
理事長 柴田 達三

この度開催されました、明石市産業振興財団理事会におきまして、平成19年度の事業計画と予算が成立し、新年度がスタートいたしました。

現在の社会経済情勢を見ますと、私達の身の回りにある携帯電話や家電製品、自動車などはすべて「ものづくり」産業が産み出したもので、日本の「ものづくり」の強さが国際競争力の強さとなり、日本の豊かさの源泉であるといわれています。そして、景気については、先行きにやや減速懸念があるものの現在のところ底堅く推移しており、企業においては、業績の向上に伴い雇用の拡大を図るとともに生産活動や設備投資は堅調な動きが続いているといわれています。

このような情勢を踏まえ、当財団におきましては、企業活動の支援を図るべく新たな時代に即応した知的財産や経済・金融に関するセミナーの開催などの新規事業を展開し、皆様とともに歩んでいきたいと考えています。

新年度においては、産業振興と地域経済の発展に寄与するため、明石高専や近隣大学、市内企業、発明協会等関係機関との連携を強化し産業交流や人材育成など効果的な事業を推進してまいります。

今後とも地域産業の担い手である皆さまの変わらぬご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

各種実技講座

新入社員研修

市内各企業において、社会人として一步を踏み出した新入社員の皆さんを対象に、接遇を中心にした研修を開催します。企業を取り巻く環境が非常に厳しい中で、各企業において即戦力を期待される新入社員の皆さんに、社会人としての意識を養うとともに、組織の一員としての自覚向上を図っていただきます。

研修では、ビジネスマナーの重要性を理解できるようにさまざまな体験学習を行い、ビジネスの基本動作を体得するとともに、職場におけるコミュニケーションの大切さを理解し、自ら積極的に行動できる社会人の育成を行います。

日時 平成19年4月12日(木) 午前10時～午後4時
場所 明石市立産業交流センター 4階 研修室1
講師 能力開発トレーナー(現リ-アウサ-) 秋岡瑛香氏
定員 30人(先着順)
受講料 3,000円
主催 財団法人明石市産業振興財団
申込み ☎ 078-936-7915または
 FAX 078-936-7916へお申込みください。



秋岡瑛香氏



経営実務セミナー

社会保険実務研修

企業活動の中で、社会保険事務をはじめ労務管理業務は、欠かすことができません。

人事・総務担当者にとって、社員の健康保険・厚生年金保険の資格や被扶養者の異動等の適用関係をはじめ健康保険の給付関係などの事務手続きを的確に行うためには、社会保険制度の基本的な仕組みを理解するとともに最新の内容を把握することが求められています。

本セミナーでは、企業の経営活動の一助としていただくため、実務担当者等を対象に社会保険事務の手続きなどについて各届出書類の記載例を交えながらわかりやすく説明いたします。

日時 平成19年5月16日(水) 午後2時～4時
場所 明石市立産業交流センター 4階研修室1
講師 明石社会保険事務所担当者
定員 30人(先着順)
受講料 無料
主催 財団法人明石市産業振興財団
申込み ☎ 078-936-7915または
 FAX 078-936-7916へお申込みください。

平成19年度事業予定表

	事業名	実施期間	事業内容
産業交流事業	産業技術交流セミナー (明石産業交流ミーティング)	7月11日(水)	東播磨県民局が主宰する「東播磨ものづくり交流会」と共催して、明石地域で活躍している企業の紹介講演と交流の基本である人の出会いの場を設営する。今回は、企業の「事業の承継」にかかる講演会を開催する。また、講演の後、交流懇談会を行う。
	クローズアップセミナー	12月中旬	最新技術、話題について、専門家を招き参加者相互の情報交換や、交流を図ることにより、新機能の発現、独自技術力向上による競争優位、利益率の向上を目指す。今回は県立大学の技術シーズである微細加工、ナノ世界の技術を産業界に紹介する。
人材育成事業	各種実技講座 ①「新入社員研修」 ②中堅技術者・管理監督者研修	① 4月12日(木) ② 11月中旬	① 新人社員を対象に「社会人としての基本的なビジネスマナー」「コミュニケーションの基本」「組織の一員としての自覚」等の実践練習を含めた研修を行う。 ② 中堅技術者、管理監督者を対象とした「自己表現の方法」「プレゼンテーションの基本」「コーチング」等を加えた研修を行う。
	経営実務セミナー「社会保険実務研修」	5月16日(水)	企業の人事・総務担当の実務者等を対象に健康保険・厚生年金保険の事務手続きなどの社会保険制度についての講座を開催する。
	各種実技講座 「ものづくりキッズクラブ」	7回シリーズ 第1回の7月下旬から 第7回の11月中旬まで	次世代を担う子どもたちのものづくり体験を通して、ものづくりの楽しさ、大切さ、技能・技術が果たす役割の理解を促進する。また、市内企業の技術、製品、現場を通して明石の豊かさを実感してもらい、企業にとっても企業活動を市民に知ってもらう機会とする。
	産業者養成セミナー 「夏休み親子見学会」	7月下旬から8月 (夏休み期間中)	将来の産業者である小学生を対象に、夏休みに親子で新キャピラー三菱(株)明石事業所と(株)ノーリツ明石本社工場を見学し、ものづくりの楽しさと地元企業の活動に触れる。
	中国語教室	① 7月7日～9月8日 ② 12月8日～2月16日	中国とは、今後ますます緊密な交流が考えられ、市内企業にも中国へ進出した企業や、今後進出を図ろうとする企業があり、市内企業社員等を対象にして、会話中心の中国語教室を2回開催する。 (①②とも、毎土曜日に実施し、全10回)
	神戸学院大学公開セミナー	6月及び11月	神戸学院大学との共催により、企業経営にかかる最新の話題を取り上げ、専門家によるセミナーを開催し、経営の向上を図る。
	専門技術講習	9月及び3月	明石高専、明石商工会議所との共催により、産業技術に関する専門的及び実務的な講座を実施し、技術者の資質向上を図る。
	ものづくり技術講演会	6月及び12月～1月	兵庫県立工業技術センターが保有するシーズ、SR利用技術、バイオテクノロジー、新素材、メカトロニクス、エレクトロニクス、環境・エネルギー等革新的基盤技術を地域産業界に紹介すると同時にものづくりの技術支援を行う。年2回6分野のシーズとニーズのマッチングを図る。
	健康セミナー	5月18日(金)	主に企業の経営者や従業員を対象として、関心の高い健康管理などについてのテーマを取り上げ、専門分野の兵庫県立大学看護学部の大学教授等によるセミナーを開催する。
	神戸ファッション造形大学・ 神戸文化短期大学セミナー	9月上旬	神戸ファッション造形大学・神戸文化短期大学との共催により、主に企業の経営者や従業員を対象として、ものづくりの精神に根ざした製品のデザイン・ファッションなどについてのテーマを取り上げ、専門分野の大学教授等によるセミナーを開催する。
	知的財産セミナー	1月～2月	(社)発明協会兵庫県支部兵庫県発明協会との共催により、特許申請・侵害などについてのテーマを取り上げ、専門家によるセミナーを開催する。
	産業経済情報の収集・提供	産業ビデオ図書の貸出・閲覧	随時
産業経済情報の収集・提供・発信		随時	産業経済情報の受信基地として、財団事業、企業情報の収集・提供を行う。また、企業訪問等により幅広くデータを収集して企業データベースの充実を図る。
財団機関紙の発行		年4回	地域の産業の動向、財団事業案内等に関する情報を提供し、今後の事業拡大に資する。
経済・金融セミナー		① 6月12日(火) ② 10月4日・18日11月8日・22日 12月6日・20日のいずれも(木)	野村證券(株)証券学習開発課との共催により、身近にある「お金」を取り巻く社会の仕組み等の理解を深めるために、専門家によるマネー講座(一般向け)を単発及び6回シリーズで開催する。
明石ケーブルテレビによる 市内企業の紹介		おおむね偶数月(隔月の 2週間、1日2回放映)	明石ケーブルテレビの協力を得て、市内の企業を紹介する。企業の製品や特長ある取り組みなどの情報を発信し、販路拡大、知名度の向上を支援する。
経営相談	窓口相談の実施	毎週火～金曜日	明石商工会議所の協力を得て、企業経営に関する諸課題の相談に応じ円滑な事業活動を支援する。また、相談窓口で対応できない課題については、企業からの要請に基づき、専門家による個別相談に応じる。
技術相談	窓口相談の実施	毎週火～金曜日	中小企業の技術開発の促進を支援するため、各種技術に関する相談を受ける。また、相談窓口で対応できない場合は、専門の諸機関を紹介する。
商標特許相談	窓口相談の実施	毎週第2・第4土曜日	産業財産権(特許、実用新案、意匠、商標など)の制度や手続きに関する相談を受ける。相談に応ずるのは、(社)発明協会兵庫県支部の職員が担当します。
勤労福祉会館	神戸学院大学健康セミナー	年2回予定	神戸学院大学との共催により、関心の高い健康、リハビリなどのテーマを幅広く取り上げ、専門分野の大学教授等によるセミナーを年2回開催し、健康の増進を図る。
	ヨガ教室	原則水曜日4回	健康のためにヨガ教室を実施する。



明石市立産業交流センター 健康セミナー

日時 平成19年5月18日(金) 午後2時~4時
 場所 明石市立産業交流センター4階 研修室1
 テーマ 「撃退メタボリック症候群—運動のススメ—」
 講師 兵庫県立大学 看護学部 助教授 柴田 真志 氏
 定員 50人(先着順)
 受講料 無料
 主催 財団法人 明石市産業振興財団
 申込み ☎ 078-936-7915または
 FAX 078-936-7916へお申込みください。

「健康な生活を日々送りたい」それは誰もが願っていることではないでしょうか。その健康を脅かすのが昨年の流行語にも選ばれたメタボリックシンドロームです。内臓脂肪蓄積が様々な生活習慣病を引き起こすという概念です。健康の維持・増進、そして生活習慣病予防には、内臓脂肪をいかに減らすかが鍵になるといえるでしょう。

本講では、内臓脂肪を減らすための適度な運動実践について解説し、人生を豊かに過ごすためのお話をいたします。

明石ケーブルテレビで地元企業を紹介

平成18年12月4日から明石ケーブルテレビのミルテレ情報局『oh!マイ・カンパニー』のコーナー(午前10時30分~11時、午後8時30分~9時の間で5分程度、隔月2週間放映)で、地元の企業(第1回シバタ工業(株)、第2回(株)きしる、第3回(株)カネミツ)を紹介しています。近くにありながらよく知らない事業所ってありますよね!? これからも明石市内にある様々な企業を紹介していきますので、ぜひご覧ください。

新しい科学技術用語の解説 「抗 菌」

病原性大腸菌 O157感染を契機に安全・清潔志向が高まり、衣類、家電製品、携帯電話ツールまでいろいろな分野で抗菌グッズが販売されています。抗菌の言葉の定義は「細菌の繁殖を制御する」ことですが、実際は殺菌、除菌、消臭など広い意味に使われています。抗菌剤は大別すると無機系と有機系にわかれ、防腐剤、防カビ剤、殺菌剤、消毒剤などに使われています。

無機系抗菌剤として、昔からクロム、銅、銀が利用されています。神社にある水飲み場の銅製のヒシヤクは多くの人が口をつけますが驚くほど雑菌が少ないし、銅製の硬貨や黄銅製のドアの取手表面も雑菌が少ない。また銀は体内に入っても安全であることから、フォークやナイフなどの食器類にも使われてきました。銀粒子を入れた水は長持ちしますし、漢方薬である仁丹の表面被覆にも使用されています。これらは銅イオン、銀イオンの働きによる殺菌・抗菌効果と考えられています。さらに近年多く利用されている無機系の抗菌剤に二酸化チタン(TiO₂)があります。二酸化チタンは、紫外線を受けると光触媒反応で強い酸化力を発揮し、付着した有機物の分解作用と同時に強い殺菌効果があり(図1)抗菌、汚れ防止、空気浄化などの目的に使われています。さらに人体に対して無害であり、歯磨き粉や化粧品パウダーにも使われています。二酸化チタンや銅、銀の微粒子を抗菌剤として利用する方法は、樹脂やセラミックス、粉体な

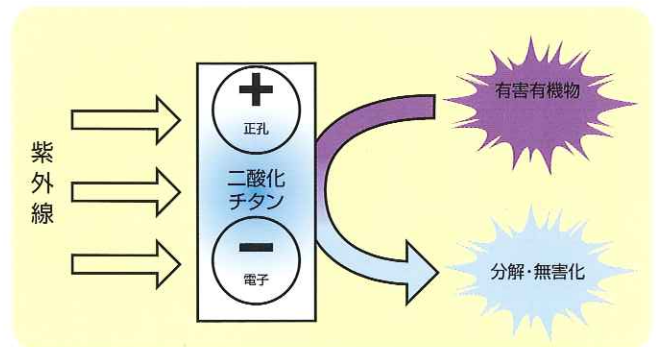


図1.光触媒による有機物の分解

どの中に混ぜる方法が一般的ですが、めっき皮膜に複合化する抗菌めっきも開発され、これらの微粒子を入れた抗菌めっき製品が販売されています。

一方、有機系では塩素やヨードの化合物、フェノール、アルコール、ホルマリン、第4級アンモニウム塩などの化学薬品があり、抗菌効果は高いが皮膚等への影響が懸念されます。安全性の面で最近出てきた天然抗菌剤にキトサンやカテキン、ヒノキチオールが有名です。

抗菌剤は使用状況などにより効果が異なり、化学物質アレルギーを引き起こす可能性があるなど使用には注意が必要ですが、衛生管理面から医療現場や食品関連分野での応用が期待されます。



会社拝見

Vol.31

Q：御社の事業内容をお聞かせください。

A：歯磨き、歯ブラシ、石けん、洗剤、ヘアケア、スキンケア製品、クッキング用品、薬品、化学品等の製造販売、海外現地会社への輸出ですが、明石工場は歯磨き・歯ブラシ・口中清涼剤を生産しております。



明石工場長
木立巧氏

Q：御社の経営理念をお聞かせください。

A：経営理念は次の3つです。

1. 人の力、技術の力、マーケティングの力を結集して、日々の暮らしに役立つ優良製品を提供する。
2. 創業以来の伝統である「挑戦と創造の心」を大切に、事業の持続的発展に努める。
3. 企業を支えるすべての人々に深く感謝し、誠意と相互の信頼をもって共栄をはかる。

Q：御社のセールスポイントをお聞かせください。

A：「食べること、話すこと、笑うこと。～幸せをつくるオーラルケア～」を事業スローガンとして、常に先進の技術、情報を取り入れて、お客様一人ひとりの健康な毎日を支える、一歩進んだオーラルケア製品を生み出していきます。

Q：「ものづくり」に対するこだわりについてお聞かせください。

A：製品のひとつひとつが直接消費者であるお客様に届いているという気持ちと、誇りを持って製品をお勧めできるよう、心がけて生産しております。

Q：今後の事業展開をお聞かせください。

A：更に高い技術・品質を目指し、お客様にご満足いただける特徴ある製品づくりをするために、高稼働化を進めます。

ライオン株式会社概要

所在地 東京都墨田区本所1-3-7

資本金 344億3,372万円

明石工場 明石市魚住町西岡800

明石工場長 木立 巧

従業員 184人

ホームページ URL <http://www.lion.co.jp/>

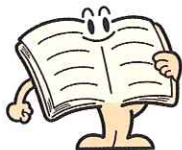


製品



明石工場風景

新着図書・ビデオソフトのお知らせ



産業交流センター3階の情報ライブラリーでは、来館者が自由に閲覧し、貸出できるように産業関係の図書やビデオソフト、雑誌を取り揃えています。

このたび、最新のビデオソフトが入荷しましたのでお知らせします。ぜひ、ご利用ください。



新着図書

No.	タイトル	出版社
1	プロジェクトX「瀬戸大橋」	宙出版
2	プロジェクトX「運命のZ計画」	宙出版
3	プロジェクトX「8ミリの悪魔vs特命班」	宙出版
4	プロジェクトX「H11ロケットエンジン」	宙出版
5	プロジェクトX「デジタルカメラ」	宙出版
6	プロジェクトX「富士山レーザー」	宙出版
7	プロジェクトX「パンダが日本にやって来た」	宙出版
8	プロジェクトX「ER誕生」	宙出版
9	プロジェクトX「スエズ運河」	宙出版
10	プロジェクトX「Jリーグ誕生」	宙出版

新着ビデオソフト

No.	タイトル
1	プロジェクトX ①家電革命 トロンの衝撃
2	プロジェクトX ②チェルノブイリの傷 奇跡のメス
3	プロジェクトX ③嵐の海のSOS 運河の舵を切れ
4	プロジェクトX ④衝撃のカミオカンデ 地下1000メートルの闘い
5	プロジェクトX ⑤プラズマテレビ 愛の文字から始まった
6	プロジェクトX ⑥醤油 アメリカ市場を開拓せよ
7	プロジェクトX ⑦駅伝日本一 運命のたすきをつなげ
8	プロジェクトX ⑧日本初のハイウエー 勝負は天王山
9	プロジェクトX ⑨復活の日 ロボット犬にかける
10	プロジェクトX ⑩桂離宮 職人魂ここにあり～空前の修理作戦～

産業振興財団 NEWS

発行日 第34号

2007年(平成19年)3月27日

発行

財団法人 明石市産業振興財団
明石市大久保町ゆりのき通1丁目4番地の7
(明石市立産業交流センター内)

☎ 078-936-7915
FAX 078-936-7916

E-mail: info@aicc.or.jp
<http://www.aicc.or.jp>

駐車場管理の変更(お知らせ)

明石市立産業交流センターの駐車場(収容台数179台)は、より一層の利用者の利便性を高めるため、平成19年2月27日から営業時間、料金等を次のとおり変更しましたのでお知らせいたします。ぜひご利用ください。

変更前(旧)		変更後(新)	
営業時間	料金	営業時間	料金
9:00~21:00 (休館日は閉場)	30分 100円	8:00~20:00	30分100円
		20:00~8:00	60分100円
当日1日最大800円			
※平成19年5月31日まではリニューアルオープン記念として終日60分100円/当日1日最大800円としています。 ※24:00以降は料金が加算されます。 ※休館日も開場(365日営業)しています。			
※当産業交流センターの休館日は、毎週月曜日と年末年始(12月29日~1月3日)			

明石市立産業交流センター1F

喫茶カフェ・1F



コーヒー 300円
モーニングセット
ランチセット

各7:00~へ出前致します(内線213)